

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2014

課題番号：23402006

研究課題名(和文) 写本の分布から見る西スマトラのイスラームに関する基礎研究

研究課題名(英文) Preliminary research on Islamic networks in West Sumatra viewed from the distribution of manuscripts

研究代表者

菅原 由美 (SUGAHARA, YUMI)

大阪大学・言語文化研究科(研究院)・准教授

研究者番号：80376821

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,500,000円

研究成果の概要(和文)：本調査によって、西スマトラにおいて、あらたに507点の古写本の書誌情報を収集した。写本は、スラウと呼ばれる宗教施設で多く保管されていた。発見された写本の種類としては、シャタリヤ派タレカットの教義書、アラビア語文法書、イスラーム法学書が多く、特に、ガザーリーのMinhaj Abidinが多く見つかった。また、コーヒー栽培地周辺で、比較的多くの学習者を抱えていたスラウではこれ以外に、歴史物語、慣習法、薬学、呪い、地震解説などの多様な写本が保管されており、これらのスラウが地域における知の中心地であったことがわかった。一方、これらの大きいスラウでは、多くの質入書も発見された(年代も質種も多様)。

研究成果の概要(英文)：For this project we collected the data of 507 manuscripts newly found in West Sumatra. Most of them were found at suraus, places of prayer that are also used to gather and to spend the night. These places have been used for teaching Sufism and Islam knowledge. We found many manuscripts on Syattariyah order doctrines, Arabic grammar and Islamic laws (fikih) on commerce, heritance, marriage, prayer and so on. We found especially many copies of Minhaj Abidin authored by Ghazali. In addition, among the manuscripts kept at comparatively large suraus we found manuscripts containing historical stories (hikayat), traditional medicines, spells and curses, and explanations of earthquakes. It is clear that these suraus are the centers of knowledge in their regions. We even found various types of letters for pawning there.

研究分野：インドネシア近代史

キーワード：イスラーム インドネシア 東南アジア 文献学 史料研究

1. 研究開始当初の背景

本研究代表者菅原由美は 2003 年～2005 年に東京外国語大学大学院 21 世紀 COE プログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」プロジェクトの一環として、上記ミナンカバウ地域で、地元の国立アンダラス大学文化学部の講師陣の協力の下、文献学の手法に基づき、同地域の写本の調査とデジタル化をおこなった。その成果は 2006 年に *Katalogus Manuskrip dan Skriptorium Minangkabau* (『ミナンカバウの写本と写本室に関するカタログ』)(M. Yusuf ed.) として東京外国語大学より出版された。これは、インドネシアにおいて、民間で保管されている写本に関するはじめてのカタログとなった。その後、続けて、2006 年に *Katalog Naskah Palembang* (『パレンバン写本カタログ』)(Achadiati Ikram ed.), 2007 年に *Katalog Naskah Ali Hasjmy Aceh* (『アチェ、アリ・ハシミ・コレクションカタログ』)(Oman Fathurahman & Munawar Holil ed.), 2010 年に *Katalog Naskah Dayah Tanoh Abee Aceh Besar* (『アチェ・ブサール県、タノ・アベ寄宿塾写本コレクションカタログ』)(Oman Fathurahman ed.) が完成し、ジャワに比してこれまであまり収集されてこなかったスマトラ写本のデータがある程度利用できるかたちになってきた。

海外の大学図書館やインドネシアの国立図書館に保管されているインドネシアの古写本資料は、植民地時代にオランダ人によって収集されたもので、写本の来歴が必ずしも明らかではない。一方、上記のカタログに載っている写本は、特定の地域にまとまって存在していることが明らかであり、写本の地域的特色を捉えやすく、地域研究や地方史の史資料として用いることができる。それゆえ、現在、インドネシアではインドネシア写本学会会員を中心に、消滅の危機に瀕している歴史文化財保存活動を兼ねた、各地方文書の開拓に注目が集まっている。

2009 年 9 月 30 日に西スマトラ沖で発生した地震が、パダン・パリアマン地区に大きな被害をもたらしたため、菅原は同年 11 月に文化遺産国際協力コンソーシアムの依頼により、同地の写本の状態の再調査をおこなった。前述のカタログに採録された写本については、多くが被災を免れていたが、その一方でこの間アンダラス大学チームの努力により発見された多くの写本がまだ整備もされないままに放置されていたことが明らかになった。特に、これまで調査ができていなかったミナンカバウ(西スマトラ)地域の北部・南部であらたに 400 点ほど写本が発見された。

2. 研究の目的

インドネシア、西スマトラ、ミナンカバウ地域各地のイスラーム礼拝施設(スラウ)に

保管されているイスラーム写本について、基礎データを収集し、書誌カタログを作成する。

上の結果を、近年同地域で収集されてきた写本データと合わせ、18～20 世紀頃のミナンカバウ地域におけるイスラームの展開について分析をおこなう。また、スマトラにおけるその他の地域(アチェやパレンバン)とのつながりについても考察する。

3. 研究の方法

海外調査

・インドネシア、スマトラ島西部ミナンカバウ地区における民間のイスラーム礼拝所に保管されている写本の基礎データ収集、写真撮影、カタログ作成をおこなう。
・インドネシア文献学の調査方法を採用。
・インドネシア人研究者(国立アンダラス大学及び国立イスラーム大学ジャカルタ校)との共同調査:

海外共同研究者

Oman Fathurahman

(国立イスラーム大学シャリフ・ヒダヤトゥラ・ジャカルタ校、イスラーム社会研究所(PPIM)研究員、インドネシア写本学会会長、イスラーム文献学)

Pramono

(国立アンダラス大学文化学部長、インドネシア文献学)

調査地

インドネシア、スマトラ島西部ミナンカバウ地域:(拠点)パダン→(調査対象地)シジュンジュン、ソロック、パサマンなど

調査期間各年 2 週間:調査には、12～13 名の調査員が必要であるが、多数で調査地に長期滞在することは難しいため、調査地では、基本情報の収集のみをおこない、デジタルカメラで写真撮影を行い、写本の詳細な分析は各自研究室に持ち帰り行った。調査準備はアンダラス大学文化学部(西スマトラ州都パダン在)でおこない、調査地での作業は、アンダラス大学文化学部の講師や学生たちと、読み、測定、写真撮影、コンピューター入力などの係にわかれておこなった。写本の調査をおこなうとともに、写本のクリーニングと保管指導も同時におこなった。

収集データ:

タイトル、言葉、文字、ページ数、大きさ、紙の種類、製本の種類、すかし、インクの色、絵の有無、写本の状態、執筆者あるいは筆者の名前、年月日、場所、文章の最初と最後の部分、コロフォンの情報、別バージョンまたは出版の有無、写本所有者の名前、住所、家系や写本の由来など

写本分類：

コーラン、ハディース、コーラン解釈、イスラーム神学、イスラーム法学、イスラーム神秘主義、文法、歴史、祈り、書簡、詩歌、文学、土地文書、質入文書など

4. 研究成果

2011年～2013年の3年間でおこなった調査により、西スマトラにおいて新たに507点の写本が発見され、その基本書誌情報及びデジタル情報を収集した。その概要は2015年3月に報告書“Katalogus Naskah Minangkabau: Wilayah Darek dan Rantau”（「ミナンカバウ写本カタログ：ダレック地域とランタウ地区」）としてまとめた。前述の *Katalogus Manuskrip dan Skriptorium Minangkabau* に収録した写本206点と合わせた715点の写本に関する概要は以下の通りである。

写本は個人宅にも保管されている場合があるが、多くは「スラウ (surau)」と呼ばれるイスラーム関連施設に保管されている。この施設は、集会所や礼拝所、時には学びの場として、今も地域で活用されている。スラウは地域のイスラーム教師によって、管理されており、彼らはスラウの隣またはその中に居住している。写本はこのスラウの戸棚に保管されているが、多くの場合、宗教的理由により、一般公開はされていない。

各地域で発見された保管地数と写本の点数は以下の通りである。

地名	保管地数	点数
Tanah Datar	2	112
Agam	4	22
50 Koto	6	29
Pasaman	4	52
Pariaman	10	177
Batu Sangkar	2	26
Padang Panjang	1	5
Padang	8	77
Dharmasraya	2	34
Solok	3	29
Solok Selatan	4	21
Sijunjung	2	71
Pesisir Selatan	5	60
小計		715

このうち、特に多くの写本を保管していたスラウと、その写本の主要な内容は以下の通りである。

Pariaman 地域

- Surau Bintungan Tinggi: 36 点
アラビア語文法、イスラーム法学書、コーラン解説、コーラン
- Surau Lubuk Ipoh: 79 点
アラビア語文法、イスラーム法学書、礼拝集、質入れ書
- Surau Gadang Ampalu: 20 点
コーラン、コーラン解説書、イスラーム法学書、物語、慣習法

Padang 地域

- Surau Paseban, Koto Tengah: 31 点
コーラン解説書、イスラーム法学書、アラビア語文法
- Surau Nurul Huda, Batang Kabung: 20 点
イスラーム法学書、歴史物語

Dharmasraya 地域

- Surau Lintang, Sialang Gaung, Koto Baru: 26 点
コーラン解説書、イスラーム法学書、アラビア語文法

Solok 地域

- Surau Parak Pisang, sumani, 10 Koto: 23 点
神秘主義、祈り、礼拝集、物語、薬学、イスラーム法学書

Sijunjung 地域

- Surau Ampalu : 15 点
イスラーム法学書、アラビア語文法
- Surau Tinggi, Calau: 53 点
アラビア語文法、神秘主義、祈り、物語

Pesisir Selatan 地域

- Surau Tanjung Limau Sundai, Batang Kapeh: 23 点
イスラーム法学書、神秘主義、アラビア語文法、

各地で発見された写本の特徴としては、

シャタリヤ派タレカットの教義書、アラビア語文法書、イスラーム法学書(売買、結婚、相続、礼拝、巡礼など)が多い。特に、ガザリーの *Minhaj Abidin* が多く見られた。18世紀のミナンカバウ社会が新しい法秩序を求めていたことが想像される。

Surau Parak Laweh (Pariangan), Surau Parak Pisang (Solok), Surau Tinggi, Calau (Sijunjung), Surau Paseban (Padang, Kota Tengah)などの比較的規模の大きい(大きかった)スラウではイスラーム諸学以外にも、歴史物語、慣習法、薬学書、呪術書、地震解説書などの写本が数多く見られた。これらのスラウが地域における知の中心地であったことがわかる。イスラーム学を中心であったコーラン解説や法学書だけでなく、様々な呪文の書が発見された

ことは大変興味深い。

一方、これらの大きいスラウでは、多くの質入れ書も発見された(年代も質種も多様)。このことが何を意味するかは、質入れ書の内容を分析する必要がある。

疑問点

Calau などの比較的大きいスラウは、コーヒー栽培地またはその輸送ルートの近くに位置していた。この地理的位置はスラウやタレカットの発展にどのような関係を持っていたのか。

今回までの調査では、よりイスラーム伝来の古い Darek 地区であまり写本が見つからない。特に、かつてシャタリヤ派の中心地であったとされるアガムで写本があまり発見されていない理由は何か。

オランダ語史料によると、各地に規模の小さい多くのタレカット(神秘主義集団)が存在していた。そうした集団は写本を残していなかったのか。シャタリヤ派などの教団とのつながりは何であったのか。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計8件)

SUGAHARA, Yumi. "Nazam Arja': Muhammad's Night Journey translated by Ahmad Rifa'i of Kalisalak" *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs (3): Papers on the story of Isra Mi'raj presented at the Sophia University Workshop on May18, 2013. SIAS Working Paper Series 23*. Ed. SUGAHARA, Yumi. Institute of Asian Cultures - Center for Islamic Studies, Sophia University. 2015. pp.33-41. 査読無

菅原由美「東南アジアに渡った『夜の旅と昇天イスラ・ミラージュ』物語」『多文化交流のなかのイスラーム：東南アジアの写本美術、物語、装いから—2013年10月19日NIHU「イスラーム地域研究」主催国際シンポジウム講演記録 SIAS Working Paper Series 24』川島緑編、上智大学アジア文化研究所イスラーム研究センター、2015、pp. 23-35. 査読無

Oman Fathurahman. "New Textual Evidence for Intellectual and Religious Connections between the Ottomans and Aceh" *From Anatolia to Aceh: Ottomans, Turks, and Southeast Asia. Proceedings of the British Academy Vol. 200*. Andrew Peacock and Annabel Teh Gallop Ed.

Oxford University Press. 2015. pp. 293-309. 査読有

SUGAHARA, Yumi. "17 Aceh, 1764 Mirat al-tullab" *Indonesia and the Malay World. "A Jawi sourcebook for the study of Malay paleography and orthography"* Ed. Gallop, Annabel Teh. 43(125). 2015. pp.72-73. 査読有

SUGAHARA, Yumi. "19 Aceh, 1783 Hidayat al-salikin" *Indonesia and the Malay World. "A Jawi sourcebook for the study of Malay paleography and orthography"* Ed. Gallop, Annabel Teh. 43(125). 2015. pp.76-77. 査読有

SUGAHARA, Yumi. "31 Pontianak, 1816 Hikayat Banjar" *Indonesia and the Malay World. "A Jawi sourcebook for the study of Malay paleography and orthography"* Ed. Gallop, Annabel Teh. 43(125). 2015. pp.100-101. 査読有

新井和広. 「書評：八木久美子著『グローバル化とイスラーム』」『宗教研究』86(3). 2012. pp.175-179. 査読無

SUGAHARA, Yumi. "Towards Broadening the Audience: The Role of Authors and Publishers of Jawi Kitabs from the 19th to 20th Century in Southeast Asia" *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs: Papers of the Workshop held at Sophia University, Tokyo, Japan on October 23, 2011. SIAS Working Series 14*. Ed. SUGAHARA, Yumi. 2011. pp.21~31. 査読無

[学会発表](計15件)

AOYAMA Toru, "The significance of "mokṣa" in the Ramayana reliefs in the light of Old Javanese texts" International Symposium "Transformation of Religions as reflected in Javanese texts" 2015年2月11-13日、東京外国語大学、アジア・アフリカ言語文化研究所(東京府中市)

Oman Fathurahman. "Shattariyah silsilah manuscripts. A transformation from Arabic, Malay, to Javanese" International Symposium "Transformation of Religions as reflected in Javanese texts" 2015年2月1~13日、東京外国語大学、アジア・アフリカ言語文化研究所(東京府中市)

Oman Fathurahman. "How Malay was the 19th Century Lanao Area of Mindanao?: An examination on the Manuscripts Collection of Syekh Muhammad Said" International Symposium "The Changing Praxis in 19th-century Malay Manuscript Tradition" 2014年11月6-8日、Maraway City, the Philippines

Oman Fathurahman. "Calau, Minangkabau, dan jaringan Islam Nusantara" Simposium Internasional Masyarakat Pernaskahan Nusantara XV "Naskah dan Relevansinya dalam Kehidupan Masa Kini" 2014年9月17~19日、Grand Inna Muara Hotel, Padang, Indonesia.

SUGAHARA Yumi. "Sejarah Daerah Minangkabau dan Naskah: dari penelitian naskah 2003-2013" Simposium Internasional Masyarakat Pernaskahan Nusantara XV "Naskah dan Relevansinya dalam Kehidupan Masa Kini" 2014年9月17~19日、Grand Inna Muara Hotel, Padang, Indonesia

AOYAMA Toru. "Relevansi film 'Opera Java' sebagai karya film cerita Ramayana dan potensi pemanfaatan naskah-naskah untuk pengembangan ekonomi kreatif" Simposium Internasional Masyarakat Pernaskahan Nusantara XV "Naskah dan Relevansinya dalam Kehidupan Masa Kini" 2014年9月17~19日、Grand Inna Muara Hotel, Padang, Indonesia

SUGAHARA Yumi. "Islam and the Dutch impact in the early 19th century: the cases of West Sumatra and Central Java" 「19世紀前半「世界不況」下の貿易・貨幣・農業：ユーラシア東南部における比較と関連」2014年度第1回国際ワークショップ、2014年9月7日、愛媛大学（愛媛県松山市）

AOYAMA Toru. "Social Integration in Majapahit as Seen in an Old Javanese Court Narrative". The Second International Symposium of Inter-Asia Research Networks "State Formation and Social Integration in Pre-Modern South and Southeast Asia: A Comparative Study of Asian Society", 2014年3月9日、東洋文庫（東京都文京区）（招待講演）

菅原由美「東南アジアに渡った『夜の旅と昇天』物語」NIHU イスラーム地域研究2013年度合同集会・国際シンポジウム「多文化交流のなかのイスラーム：東南アジアの写本美術、物語、装いから」（招待講演）2013年10月19日、上智大学（東京都千代田区）

青山亨「東南アジアの『インド化』再考」第58回国際東方学会議、2013年5月24日、日本教育会館（東京都千代田区）

SUGAHARA, Yumi "The Night Journey translated by Ahmad Rifa'i Kalisalak" Joint Workshop "Comparative Study of Isra Mi'raj in Southeast Asia" (3rd Workshop on the Comparative Study of Southeast Asian Kitabs), Collaboration with ILCAA Joint Research Project. 2013年5月18日、上智大学（東京都

千代田区）

SUGAHARA, Yumi. "Orang Awam Should Be Educated: Strategy of a Kiyai in the 19th Century Java" 2nd Workshop on the Comparative Study of Southeast Asian Kitabs. 2012年5月20日、上智大学（東京都千代田区）

AOYAMA, Toru. "Localization of the Other in the Indonesian Film 'Opera Jawa': A Case of Telling a Ramayana Story in a Muslim Community" The 3rd Annual Conference for the Consortium for African and Asian Studies (CAAS), 2012年2月16~18日、SOAS, University of London, U.K.

SUGAHARA, Yumi. "Islamic Knowledge Disseminated through the Publication of Kitabs in the Netherlands Indies" Workshop on the Comparative Study of Southeast Asian Kitabs. 2011年10月23日、上智大学（東京都千代田区）

新井和広「国境・国籍・民族・個人—蘭領東インド在住ハドラマーを例に」国立民族学博物館共同研究「非境界型世界の研究—中東的な人間関係のしくみ」、2011年7月17日、国立民族学博物館（大阪府吹田市）

〔図書〕（計10件）

SUGAHARA, Yumi ed. *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs (3): Papers on the story of Isra Mi'raj presented at the Sophia University Workshop on May18, 2013. SIAS Working Paper Series 23*, 上智大学アジア文化研究所イスラーム研究センター、2015、iv+56p.

Hidayat, Herry Nur; Pramono; Zuriati ed. *Naskah dan Relevansinya dalam Kehidupan Masa Kini: Prosiding*. Pusat Studi dan Informasi Kebudayaan Minangkabau, Universitas Andalas. 2014, xiv + 604p.

青山亨. 第2章「歴史」、第4章「インド化」、第18章「イスラーム」、第31章「ポロブドゥール」、第43章「スカルノとスハルト」、コラム「プラムディヤ」、各国概要「インドネシア」、東京外国語大学東南アジア課程編『東南アジアを知るための50章』明石書店、2014、p24-36, p47-54, p158-165, p284-290, p366-372.

菅原由美. 『オランダ植民地体制下ジャワにおける宗教運動—写本に見る19世紀インドネシアのイスラーム潮流』大阪大学出版、2013、352p.

新井和広. 「商品化するイスラーム—雑誌『アル=キッサ』と預言者一族」倉沢愛子編

著『消費するインドネシア』慶應義塾大学出版会、2013、pp.241-268p.

新井和広「アジア社会のイスラーム化と移民コミュニティ」吉原和男ほか編『人の移動事典—日本からアジアへ・アジアから日本へ』丸善出版、2013、pp. 368-369p.

ARAI, Kazuhiro. “The Sayyids as Commodities: The Islamic Periodical *Alkisah* and the Sayyid Community in Indonesia” *Sayyids and Sharifs in Muslim Societies: The Living Links to the Prophet*. Ed. MORIMOTO Kazuo. Routledge, 2012, pp.247-266.

AOYAMA, Toru ed. *Making a Difference: Representing/Constructing the Other in Asian/African Media, Cinema and Languages: Proceedings of the Papers Presented at Consortium for Asian and African Studies 3rd International Conference, SOAS, University of London, 16-18 February 2012*. Tokyo University of Foreign Studies, 2012, vii+266p.

SUGAHARA Yumi ed. *Comparative Study of Southeast Asian Kitabs: Papers of the Workshop held at Sophia University, Tokyo, Japan on October 23, SIAS Working Series 14*.上智大学アジア文化研究所イスラーム研究センター、2011、96p.

新井和広編著『ジャウイ文字でつながる東南アジア・イスラーム世界—ジャウイ定期刊行物創刊号巻頭言』上智大学アジア文化研究所イスラーム研究センター、2011、213p.

6. 研究組織

(1)研究代表者

菅原 由美 (SUGAHARA, Yumi)
大阪大学・言語文化研究科・准教授
研究者番号：80376821

(2)研究分担者

青山 亨 (AOYAMA, Toru)
東京外国語大学・総合国際学研究院・教授
研究者番号：90274810

新井和広 (ARAI, Kazuhiro)
慶應義塾大学・商学部・准教授
研究者番号：60397007
(平成24年度まで研究分担者)

(3)連携研究者

新井和広 (ARAI, Kazuhiro)
慶應義塾大学・商学部・准教授
研究者番号：60397007
(平成25年度より連携研究者)